

たてばやし学校エコライフ活動 報告書

(令和元年度版)

令和2年3月

館林市市民環境部地球環境課

館林市教育委員会学校教育課

1. 「たてばやし学校エコライフ活動」の概要

1. 目的

「たてばやし学校エコライフ活動」は、平成 22 年 3 月に策定された「第二次館林市環境基本計画」において、「学校での環境教育の推進」によって館林市の環境保全と創造を実現するための重要な取組のひとつとして位置付け、次の目的のために実施するものです。

①環境に配慮した生活習慣の定着

学校生活の中で、省エネや省資源、美化緑化、ごみ減量・再資源化などを創意工夫しながら実践し、生活習慣化することで、日常的に環境に配慮した学校生活を営めるようにします。

②温室効果ガスの削減、及び省エネの推進

館林市教育委員会は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の対象であり、かつ、省エネ法の特定事業者であるため、温室効果ガスの削減、及び省エネの推進が責務となっています。

③家庭・地域への環境配慮行動の波及

子どもたちが「たてばやし学校エコライフ活動」によって身につけた環境配慮行動を家庭でも実践することにより、家庭でも環境に配慮した生活が実践できるようになり、ひいては地域での環境配慮活動として普及していくことが期待されます。

2. 対象範囲

学校での環境活動には、「環境教育」と「学校生活における環境に配慮したエコ活動（省エネルギーや省資源、美化緑化、ごみ減量活動等）」（以下、「学校エコライフ活動」という。）の2つの取組がありますが、たてばやし学校エコライフ活動では、後者の「学校エコライフ活動」が活動範囲となります。

館林市教育委員会では、これまでも各校で環境教育等に積極的に取り組んできましたが、今後は、これまでの環境教育だけでなく、学校生活での環境配慮活動の取組も強化していくことになります。

3. 仕組み

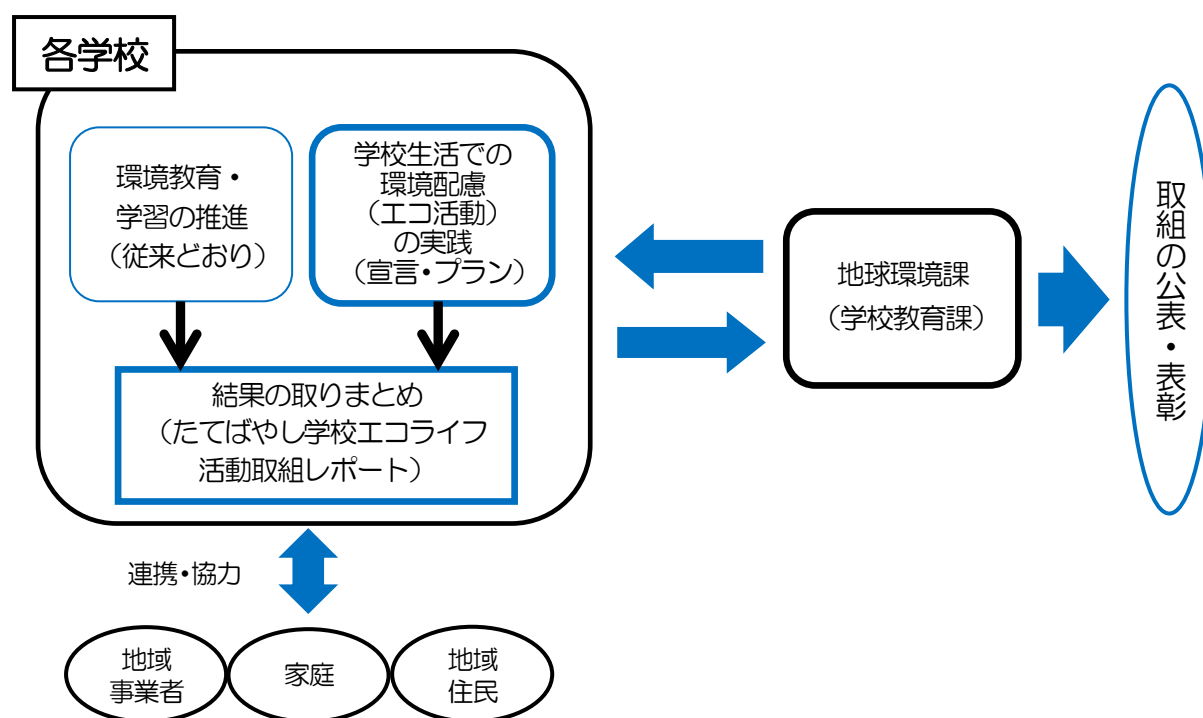
たてばやし学校エコライフ活動では、学校生活での環境配慮活動を実践・推進していくための方向性を定める『学校エコライフ活動宣言書』を作成した上で、その方向性に沿って『学校エコライフ活動プラン』を組立て、取組を推進していくことになります。

なお、従前から実施してきた環境教育等については、従来どおり継続実施していくことになります。

学校エコライフ活動での取組成果は、取組活動の効率性を考え、従前から実施してきた環境教育等の活動成果である「環境教育実践事例集」をベースとした「たてばやし学校エコライフ活動取組レポート」にとりまとめ、教育委員会に提出することになります。

また、これらの取組のうち、特に他の範例となるものについては、表彰（現在、検討中）し、取組を奨励していきます。

仕組みの全体像は、以下のとおりです。



4. 令和元年度の取組

令和元年度は、概ね次のとおり実施しました。

月	学校での実施事項	学校への支援等
4月	- 推進体制づくり 宣言の決定 学校エコライフ活動に取り組む方向性・内容の決定	
5月	『学校エコライフ活動宣言書』の作成 『学校エコライフ活動プラン』の作成	実務担当者向け研修会
6月	活動の推進 - 活動の実践	宣言書・活動プラン → 提出
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月	活動の報告 - 取組結果のとりまとめ 『学校エコライフ活動取組レポート』の作成	学校訪問（4校実施） 第一小学校、第四小学校、第六小学校、第二中学校
2月	学校エコライフ活動取組報告	取組レポート → 提出 たてばやし学校エコライフ活動報告書
3月	- 取組結果の周知 取組の継承 - 次年度への引継ぎ	たてばやし学校エコライフ通信の発行

2. 各校の取組結果

令和元年度における各校の取組結果（「たてばやし学校エコライフ活動取組レポート」）は次のとおりです。

（掲載順序）

No.	学校名	宣言書スローガン	頁番号
1	第一小学校	省エネや省資源に関心を持ち、環境に優しい学校を目指します。	5・6
2	第二小学校	美しい自然や環境を大切にすることを学び、積極的に行動する学校を目指します。	7・8
3	第三小学校	緑化とリサイクルを通して環境にやさしい学校をめざします。	9・10
4	第四小学校	省エネと美しい自然があふれる第四小	11・12
5	第五小学校	節電・節水、ごみの分別を行い、環境に優しい学校を目指します。	13・14
6	第六小学校	「電気・水 みんなで節約 意識しよう」「捨てないで 環境考え リサイクル」のスローガンのもと、節電・節水とアルミ缶の回収を積極的に行う学校を目指します。	15・16
7	第七小学校	学校の草花や地域の自然を大切にし、緑豊かな学校をめざします。	17・18
8	第八小学校	リサイクル、省エネをして、気持ちよく生活できるきれいな学校にします。	19・20
9	第九小学校	資源を大切にして、花と緑いっぱいの学校にします。	21・22
10	第十小学校	節電・節水・ゴミの削減と分別を心がけ、省エネ・リサイクルに進んで取り組む学校を目指します。	23・24
11	美園小学校	電気、水のむだづかいを無くし、資源のリサイクルに取り組む学校を目指します。	25・26
12	第一中学校	エコライフを心がけ緑と花いっぱいの美しい一中をめざします	27・28
13	第二中学校	美しく 緑の多い 空気のおいしい二中	29・30
14	第三中学校	リサイクルをして地球と命に優しい学校をつくる！	31・32
15	第四中学校	自然と共生 四中生	33・34
16	多々良中学校	環境に優しい学校づくり ～緑化と省エネに取り組みます～	35・36

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第一小学校

【宣言書スローガン】

省エネや省資源に関心を持ち、環境に優しい学校を目指します。

【取組テーマ】

- ① 省エネルギー
- ② 省資源・リサイクル

【取組目標】

節電や節水、ゴミの分別を徹底し、環境に優しい学校を目指します。

【取組内容】

1. 移動教室や休み時間で教室を離れるとき、使用しない場所や廊下・トイレにおいては、照明・空調を消すことを会議や打ち合わせ等で周知を図った。児童へは担任の先生から学級活動の時間などを利用して呼びかけた。
2. リサイクル委員会が、校舎内の消灯の見回り及び節電・節水啓発の呼びかけを行った。また、一人一人が意識していけるよう、啓発用ポスターを作成して担当場所に掲示し、省エネに努めた。
3. 月1回の委員会活動の中で、学校内の環境に対する問題点を出し合い、自分達にもできる改善策を挙げ、実行した。
4. 職員室を離れるときや未使用時には、パソコンの電源を消すことを周知した。退庁時には、パソコン電源OFFチェックを再度行い、周囲でも確認し合った。
5. ゴミ箱やゴミステーション内、古紙回収BOXには誰にでもわかるような掲示を行い、分別の徹底を図った。
6. 古紙回収BOXの中身を、委員会の児童が確認してから回収箱へ入れることで、適切な回収を図った。家庭にも、古紙回収日の前にお便りを配布し、多くの古紙が回収できるようにした。
7. 4年生はたてばやしクリーンセンターの見学に行き、3・5年生では環境教育の出前講座「動く環境教室」を実際した。自分達が出したゴミが、どのように処理されるのかを学習することで、ゴミの分別やゴミを減らす工夫についての意識が高められるようにした。
8. 緑化委員会を中心にPTAの方々と協力して「緑のカーテン」をはじめ、草花をたくさん育て学校の緑化に努めた。その結果、館林草花クラブ花壇コンクールで市長賞を受賞する事ができた。

【まとめと目標】

（まとめ）

昨年度に引き続き、児童が環境に対する意識を高められるよう、工夫改善を図った。古紙回収や環境チェックを行いながら、どのようにすれば学校全体が環境問題について興味を持ってくれるかを話し合い、低学年にもわかるような新聞や、古紙回収や節水をする事の必要性を書いた啓発物を掲示する事により児童達の関心を高めることが出来た。

（目標）

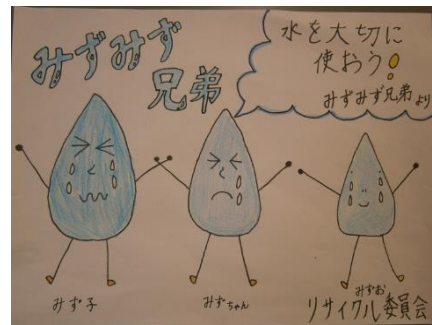
掲示物もたくさん掲示する事で、環境への興味をもち始めたので、環境教育主任が主体となり、学校全体でさらに環境について考えていきたい。次年度の取組では、お昼の放送などを利用して、さらにたくさんの児童達に様々な場所で環境について考える時間を設けていきたい。



社会科見学
(たてばやしクリーンセンター)
4年生の様子



出前講座（動く環境教室）
の様子



古紙回収や環境チェック
の結果から考えた学校の
問題点を訴える



緑のカーテン
PTAの方と協力して種まき



リサイクル委員会が
作成した環境新聞を
児童玄関に掲示

リサイクル委員会活動
古紙回収
節水・節電の環境チェック



6年リサイクル委員会・環境チェック表（1月）

チェック項目【5項目】※1は必数値。※2は週別。※3は月別。※4は1週間。※5は1ヶ月。

月	火	水	木	金
1	2	3		
4	5	6	7	8
9	10	11	12	13
14	15	16	17	18
19	20	21	22	23
24	25	26	27	28
29	30	31		

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組しレポート

館林市立第二小学校

【宣言書スローガン】

**美しい自然や環境を大切にすることを学び、
積極的に行動する学校を目指します。**

【取組テーマ】

省資源・リサイクル 美化活動

【取組目標】

**ゴミの分別やリサイクル、美化活動を通して、環境
にやさしい学校を目指します。**

【取組内容】

- 1 清掃や授業時に出了ゴミについて、燃えるゴミ用とプラスチックのゴミ用を設置し、分別を徹底した。また、各教室に古紙回収用の入れ物を設置し、古紙のリサイクルを積極的に行っている。**
- 2 JRC 委員会が、定期的にアルミ缶・古紙回収を実施した。**
- 3 JRC 委員会が、定期的にペットボトルキャップ回収を実施した。**
- 4 使わない電気は消したり、冷暖房の節約をしたり、節電や省エネに努めた。**
- 5 園芸委員会が中心となって、花壇の整備や緑のカーテン事業に取り組み、学校の美化に努めた。**
- 6 全校でつつじの子房摘み活動を行い、郷土の自然を大切にすることを養った。**

【まとめと目標】

（まとめ）

ゴミの分別やリサイクル活動を積極的に行った。また、つつじの子房摘みや学校花壇の整備、緑のカーテン事業などの取組によって環境美化への関心も高まっている。継続した取組によって、環境を意識した生活が当たり前のことになってきている。

（目標）

次年度以降も、本年度の取組を実践し、引き続き児童の環境意識が高まるようにしていきたい。



ゴミの分別



古紙回収 BOX



古紙回収庫



ペットボトルキャップ



アルミ缶回収



節電シール



緑のカーテン事業



花壇の整備



つつじの子房摘み

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第三小学校

【宣言書スローガン】

**緑化とリサイクルを通して
環境にやさしい学校をめざします。**

【取組テーマ】

- 1 緑化**
- 2 リサイクル**

【取組目標】

**花と緑を増やす事を心がけます。
リサイクル活動に取り組みます。**

【取組内容】

日常の学校生活のなかで花と緑を増やし、リサイクル活動を実践します

- 1 飼育・園芸委員、高学年や特別支援学級の児童が、季節の花を育て、花壇の美化を図った。**
- 2 校舎の南窓側に「緑のカーテン」を作り、緑を鑑賞したり、理科の授業で観察をしたりすると共に、エアコンの省エネを図った。**
- 3 アルミ缶を回収する週には、委員会から回収のお知らせの配布物を出したり校内放送をしたりして、各家庭、及び各児童に呼びかけ、リサイクル活動を定期的に行なった。**
- 4 古紙回収ボックスを各クラスに設置し、奉仕美化委員が定期的に回収することで、学校全体のリサイクルへの意識を高め、習慣化することができた。**
- 5 年3回のPTA活動で、バザーや廃品回収を行い、地域でリサイクル活動に取り組んだ。**

【まとめと目標】

（まとめ）

児童が季節ごとに、花壇の美化、グリーンカーテンを設置したことで、緑化や省エネルギーに対する意識が高まった。奉仕・美化委員が定期的にアルミ缶や古紙の回収を行ったことで、リサイクル活動も定着してきた。PTAの資源回収やバザーでは、毎年地域やPTAの協力もあり、リサイクル活動が引き継がれている。

（目標）

緑化やリサイクルの活動は定着してきている。次年度は、さらに児童が主体的に緑化やリサイクルに組んでいけるようにしていきたい。

1. 緑化



「花壇の美化」
高学年児童、特別支援学級の児童が、協力して、春、夏、秋の季節の花を植えました。



「花壇の水やり」
飼育・園芸委員会、特別支援学級の児童が、花に水をあげて世話をしています。



「緑のカーテン」
校舎の南側に設置したことで、涼しさを感じることができました。

2. リサイクル



「アルミ缶回収」
奉仕美化委員が、朝の登校時、玄関行っています。



「古紙回収」
奉仕・美化委員が定期的に行っています。



「PTA バザー」
6月上旬に開催。毎年好評です。

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組しポート

館林市立第四小学校

【宣言書スローガン】

省エネと美しい自然があふれる第四小

【取組テーマ】

- 1 省エネルギー
- 2 緑化
- 3 環境美化

【取組目標】

- (1) 節電・節水を一人一人が意識して取り組みます。
- (2) 緑や花があふれる美しい学校を目指します。

【取組内容】

- ① エコ活動週間を設定し休み時間に園芸委員が各クラスの電気の使用率、水道の使用率について見回りをし、グラフにまとめた。
給食時には全校生徒に向けて省エネ(節電・節水)を呼びかけた。
- ② 給食最後の5分間を「無言タイム」とし残菜を減らすように心がけた。
- ③ 園芸委員を中心に緑のカーテン育成を行い、エアコンの効果的な活用を心がけた。
- ④ 園芸委員を中心に花壇の整備を1年間計画的に行った。
- ⑤ こどもエコクラブの活動に参加し、「大島自然探検隊」として3年生が大島地区の環境学習に取り組んだ。

【まとめと目標】

(まとめ)

- ・ エコ活動週間を各学期2週間ほど設定し、園芸委員がクラスの電気使用量をグラフにまとめ全校児童に周知した。このことにより省エネルギーの意識が全体として高まった。
- ・ 給食終了時刻5分前を「無言タイム」として完食することに専念する時間を設定したことで、各クラスの残菜量が減った。(食べ終わった人はマスクをして前向いて待つ。)
- ・ 園芸委員を中心に緑のカーテンや花壇(令和元年度 花壇コンクール市長賞)を計画的に整備することで、暑さ対策に繋がっただけでなく視覚的にも涼やかになった。
- ・ こどもエコクラブの活動に参加することで、子供の環境学習への興味関心が高まった。

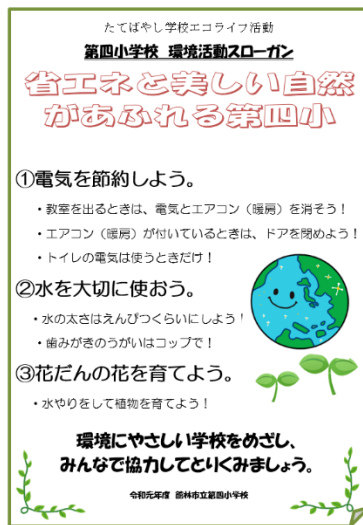
(目標)

- ・ 省エネルギーへの意識は昨年と比べて、全体として向上しているものの、時々電気の消し忘れやエアコンのつけっぱなし、水の無駄遣い等が見られた。引き続き、次年度もエコライフ週間を設定し継続して節電・節水を心がけさせたい。

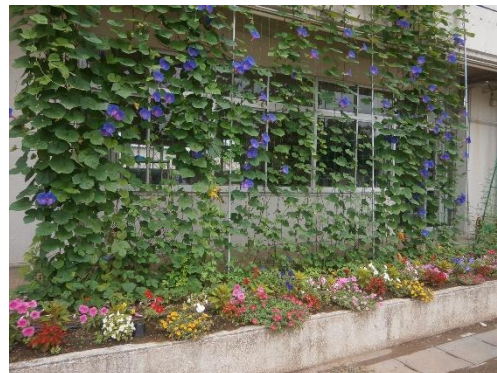
(1) 節電・節水を一人一人が意識して取り組みます。
(2) 緑や花があふれる美しい学校を目指します。



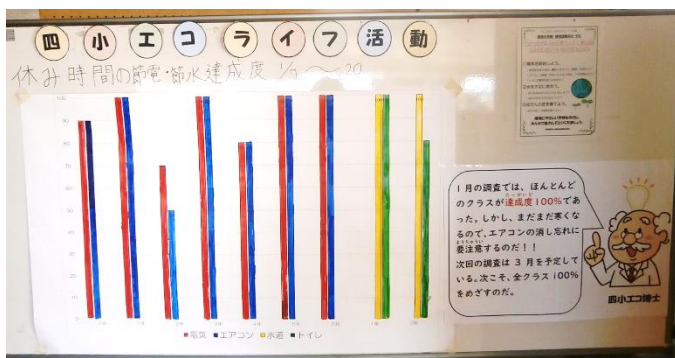
節電励行シール



スローガンの掲示



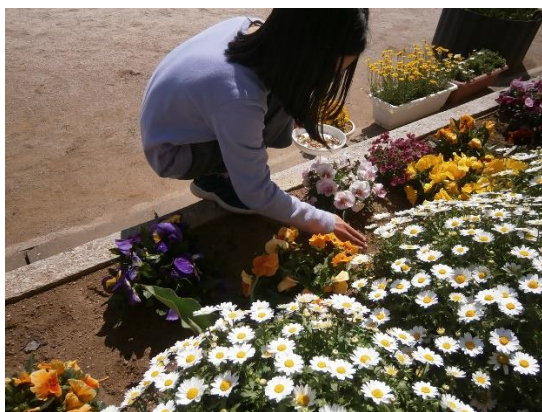
グリーンカーテン



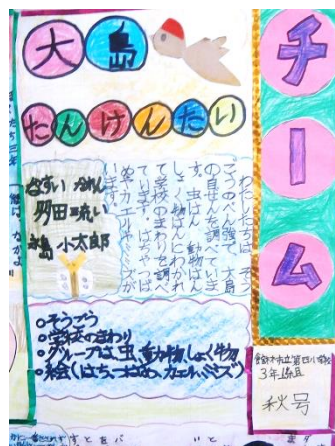
エコライフ週間「省エネ」調査



「無言タイム」で「残菜0」



花壇の花



「大島自然探検隊」のまとめ新聞

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組しレポート

館林市立第五小学校

【宣言書スローガン】

節電・節水、ごみの分別を行い、環境に優しい学校を目指します。

【取組テーマ】

省エネルギー

【取組目標】

一人一人が省エネルギーを意識して取り組めるようにします。

【取組内容】

- 1 教職員へは職員会議で、児童へは担任の先生から朝や帰りの会・学級活動の時間などを利用して周知し、活動の徹底を図った。休み時間や別教室で授業を行うなど教室に誰もいない場合には、電気を消すようにした。**
- 2 教職員へ職員会議でエアコン・扇風機のスイッチをできるだけ切るよう投げかけた。また、窓を開け、空気の入換えを励行した。（高温や空気が生暖かいなど天候の状況による）**
- 3 教職員へ職員会議で、児童については緑の委員会児童へ委員会の時間などに特別教室や廊下・階段など、どの場所のスイッチか分かる表示を付け、使っていない場所の電気に気付いて消すよう促していった。**
- 4 節水やスローガンの掲示、エコ活動の呼びかけを通して周知を図った。**
- 5 教室ごとにゴミの分別を行い、教職員・児童が校内の回収場所（入れ物に表示がある）に持ってくるようにした。**
- 6 給食時に放送で省エネを呼びかけ、緑の委員会で校舎の見回りを行った。花壇の花の説明書を作り、全校児童への関心を高めた。**

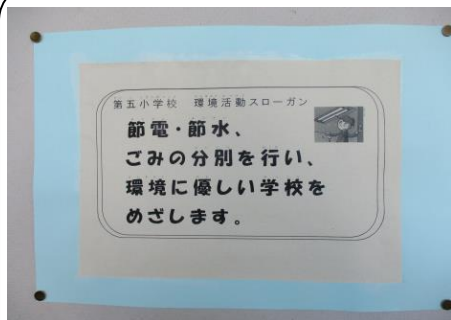
【まとめと目標】

（まとめ）

エコ活動を通し、それぞれの電源の場所が分かりづらいことが明確となり、誰もが分かる表示をしていくよう心がけた。電気の消し忘れ場所がとても少なくなり、委員会中心の活動であったが徐々に教職員・児童に省エネへの関心が高まってきていると感じられた。

（目標）委員会が省エネへの理解を明確にし、取組のリーダーとして全校のエコ活動周知につなげていきたい。

【添付資料】



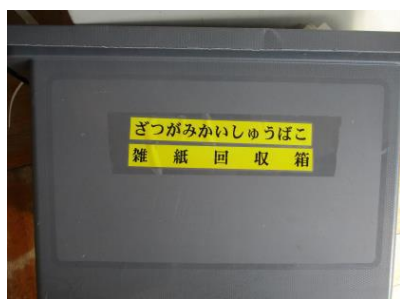
校内掲示



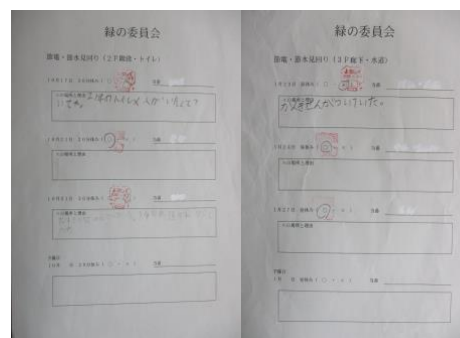
電源場所表示



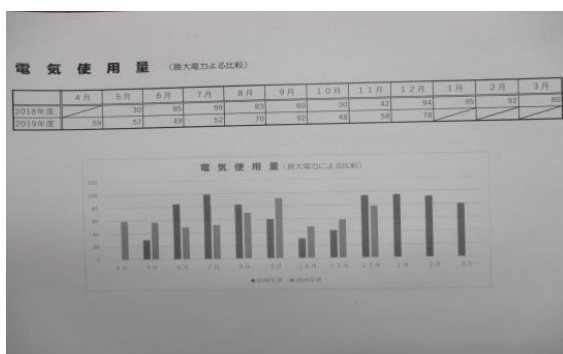
節水表示



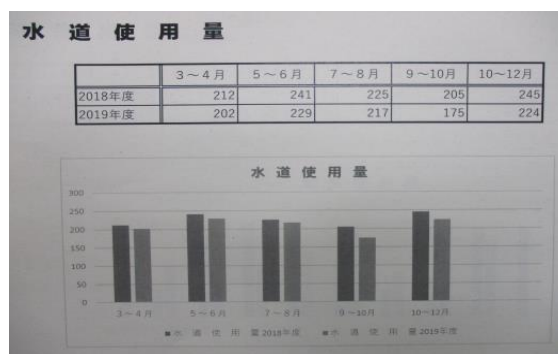
ゴミ分別表示



エコ活動（節電・節水見回り）



電気使用量



水道使用量



グリーンカーテン
室内22度・室外37度



緑化活動

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組しレポート

館林市立第六小学校

【宣言書スローガン】

「電気・水 みんなで節約 意識しよう」「捨てないで 環境考え リサイクル」のスローガンのもと、節電・節水とアルミ缶の回収を積極的に行う学校を目指します。

【取組テーマ】

- 1 省エネルギー
- 2 省資源・リサイクル

【取組目標】

- 1 環境を守るために、節電・節水をし、地球に優しい学校を目指します。
- 2 アルミ缶回収や古紙回収を行い、限りある資源を大切にします。

【取組内容】

- 1 廊下、階段等の必要のない電気はこまめに消すことを呼びかけた。
- 2 移動教室の際に、教室の電気や冷暖房が消えているか確認することを呼びかけた。
- 3 清掃活動中は、バケツに水を汲み、そこでぞうきんを濯ぐよう呼びかけをした。
- 4 各クラスにリサイクルボックスを設置し、環境美化委員会が毎月1回古紙の回収を行った。
- 5 環境美化委員会が中心となって、毎週昇降口でアルミ缶回収を行った。
- 6 学校生活で身近なものを題材に、エコに対する知識・理解を呼びかけた。

【まとめと目標】

（まとめ）

アルミ缶と古紙のリサイクルを進めるなかで、児童に活動が浸透し、学校のエコ活動への意識が高まった。

（目標）

アルミ缶回収では、活動が浸透し意識は高まったものの特定の児童しか持ってきていない現状があるため児童への呼びかけを工夫し、活動のさらなる活性化を図りたい。また、職員の退庁時や長期休業中などの待機電力の削減が課題である。次年度では、継続的な呼びかけを行い、課題に取り組んでいきたい。

アルミ缶や古紙回収をします。



環境美化委員会によるアルミ缶回収

リサイクルについての呼びかけをします。



環境美化委員会によるリサイクルに関するクイズ

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第七小学校

【宣言書スローガン】

学校の草花や地域の自然を大切にし、緑豊かな学校をめざします。

【取組テーマ】

**緑化活動
省エネルギー
リサイクル**

【取組目標】

**草花を大切にし、緑豊かな学校をめざします。
一人一人が、節電・節水を意識して、資源を大切にします。
ごみの分別やリサイクルを徹底し、ものを大切に使います。**

【取組内容】

- 1 1人1人が緑の少年団の一員であるという自覚を高めるため、『緑の少年団結団式』を行った。**
- 2 園芸委員会の児童を中心に、花壇に季節の花を植え、全校で花と緑あふれる学校づくりを行った。**
- 3 特別支援学級の児童を中心に、緑のカーテンづくりを行った。**
- 4 町探検をしながら、地域の近藤沼周辺の清掃活動を行った。**
- 5 水道を使用する際は、こまめに水を止めるなど、水を大切に使うようにした。**
- 6 節電のために、使用していない場所の消灯や、廊下、トイレのこまめな消灯に努めた。**
- 7 環境委員会の児童がリサイクルボックスを設置し、ペットボトルキャップを回収したり、アルミ缶回収や古紙のリサイクル活動を行っていた。**
- 8 ごみの分別について、全校児童及び全教職員で徹底を図った。**

【まとめと目標】

(まとめ)

- ・特別支援学級を中心に学校で使われる紙のリサイクル活動に取り組み、ゴミの量を減らすことができた。
- ・今年度は、地域の環境美化への取り組みとして、地域の憩いの場である近藤沼公園の清掃活動を校外学習とかねて行った。きれいにすることの気持ちよさに気づかせるとともに、自然を大切にしようとする気持ちの向上につながるよう今後も続けていきたい。

(目標)

- ・委員会では、植物を大切にするように活動を行ってきたが、水やりや草取りが不十分な花壇も見られた。委員会を中心に、学校全体で取り組んでいけるような活動を行っていきたい。

緑化・環境美化活動

緑の少年団結団式



花いっぱい活動

- ・園芸委員会の児童と特別支援学級の児童を中心に花壇の手入れをした。
- ・清掃時間には、各学級で、草取りや水まきなどの活動をした。



グリーンカーテン

- ・特別支援学級の児童を中心にグリーンカーテン作りを行った。教室内はやや涼しくなり、視覚的にも涼やかな環境となった。



近藤沼周辺のゴミ拾い

- ・2年生の町探検の学習をしながら、地域の憩いの場である近藤沼公園のゴミ拾い活動を行った。
- ・自然を大切にしようとする気持ちが高まった。

省エネルギー

リサイクル



節水シール

- ・水道栓をしっかり閉めるよう、節水意識をもたせるシールを貼っている。

節電活動

- ・節電意識を持たせるため、節電シールを貼って、啓発している。



ペットボトルキャップ回収

- ・回収箱を中央玄関に設置している。
- ・家庭の協力が得られ、たくさんのキャップが回収されている。



古紙分別活動

- ・教室では古紙、職員室では、プラ、古紙、燃えるゴミ等の分別をしている。

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第八小学校

【宣言書スローガン】

**リサイクル、省エネをして、気持ちよく生活できる
きれいな学校にします。**

【取組テーマ】

**省エネルギー
リサイクル**

【取組目標】

**節電・節水を意識して生活します。
リサイクル活動(古紙・ペットボトルキャップ回収)に
取り組みます。**

【取組内容】

- 1 節電ポスターを作成し、移動教室などで人がいないときには電気を消すように意識啓発を図った。**
- 2 電気を消す係をつくり、人がいなくなる際には電気を消すようにした。**
- 3 空調の管理は教員が行い、適切な温度になるようにし、授業終了後には電源を切った。**
- 4 黒板消しクリーナーを定期的に清掃し、無駄な電力を使わないようにした。**
- 5 節水ポスターを作成し、意識啓発を図った。**
- 6 リサイクルボックスでペットボトルキャップ回収を行ったり、服のカフプロジェクトに参加したりして、リサイクルへの意識向上を図った。**
- 7 定期的に古紙回収を行い、資源を大切に利用した。**
- 8 みどりのカーテンをつくり、維持・管理した。**

【まとめと目標】

(まとめ)

- ・水道や電気のスイッチ付近にポスターがあることで、意識することができた。
- ・古紙やペットボトルキャップ、着なくなった服などを回収することで、委員会の児童だけではなく、学校全体としてリサイクルへの意識が高まった。

(目標)

委員会で作ったポスターや、活動内容を紹介する場があると、学校全体としてエコに対する意識が高まるのではないかと感じた。活動の目的を知る場などを設けていきたい。



古紙回収の様子



みどりのカーテン



節電ポスター



服のカプロジェクト



節水ポスター

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第九小学校

【宣言書スローガン】

資源を大切にして、花と緑いっぱいの学校にします。

【取組テーマ】

**リサイクル
緑化活動**

【取組目標】

**資源のため学校全体でゴミの分別やリサイクル活動に取り組み、
花と緑を大切にする。**

【取組内容】

- 1 節電・節水シールを貼り、節電・節水活動の啓発を行った。**
- 2 緑のカーテンを校舎の南窓側に作り、日陰をつくった。**
- 3 花壇の手入れをして、植物の育成に取り組んだ。**
- 4 全校で月1回古紙アルミ缶回収を行った。**
- 5 各教室に分別用のゴミ箱を設置し、ゴミの分別意識をもたせ、分別活動に取り組んだ。**
- 6 ペットボトルキャップの回収をした。**
- 7 園芸・美化委員会で、緑を大切にするに関する劇を行った。**

【まとめと目標】

（まとめ）

学校エコライフ活動を進めるなかで、校内全体で花壇をきれいに保とうとする意識をもって、水やりや草取りを継続して行うことができた。また、ゴミの分別も継続して行うことができた。

（目標）

長期休業中など、時期によっては花壇の花が枯れたままになっていることがあったので、こまめに草取りや水やりをできるように今後も呼びかけていきたい。

古紙・アルミ缶回収の様子



節水シール



緑のカーテン



節電シール



ペットボトルキャップ回収



学級の花壇

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第十小学校

【宣言書スローガン】

節電・節水・ゴミの削減と分別を心がけ、省エネ・リサイクルに進んで取り組む学校を目指します。

【取組テーマ】

**省エネルギー
省資源・リサイクル**

【取組目標】

**電気と水の使用量を1%以上減らす。
ゴミを減らし、リサイクルを1%以上増やす**

【取組内容】

環境委員会とJRC委員会が中心となり、以下の取り組みを行いました。

- 1 節電・節水ポスターを作成**
- 2 節電シールを作成し、学校全体の照明スイッチ付近に掲示**
- 3 移動教室の際に消灯をチェック**
- 4 グリーンカーテンの設置、水やり**
- 5 アルミ缶回収**
- 6 ペットボトルのキャップの回収**
- 7 東京2020オリンピック・パラリンピック「使い捨てプラスチックを再生利用した表彰台プロジェクト」に登録**
- 8 教室の古紙回収（リサイクルボックスを設置）**

【まとめと目標】

（まとめ）

省エネルギーについては、電気や水の使用量を減少させることができなかった。休憩時間中に照明やエアコンの消し忘れが多かったことが原因として考えられる。

リサイクルについては、各月回収日を設け活動し一人一個を目標にすることによって、回収量を増やすことができた。また、授業公開日や挨拶運動の日に合わせてリサイクルへの協力を呼びかけことも効果的だった。

「使い捨てプラスチックを再生利用した表彰台プロジェクト」に参加することでリサイクルへの関心を高めることができた。

（目標）

省エネルギーについては、エアコンの消し忘れ防止、トイレの消灯について積極的に呼びかけを行い、節電・節水を進めていく。

リサイクルについては、回収したアルミ缶やペットボトルキャップの量が一目でわかるようにするなどしてリサイクルへの関心を高め、特別な呼びかけをしていない期間にも回収量が増えるようにしたい。



学校公開日にリサイクルを呼びかけ、
保護者にも協力を依頼。



節電ミニポスターの作成・
掲示



挨拶運動に合わせ、
アルミ缶回収呼びかけ



委員会時に環境委員が
古紙回収



休み時間に環境委員会で各ク
ラスの電気や水道チェック



校内放送&タブレットを使い、環
境委員会の取組を発表。「使い捨て
プラスチックを再生利用した表彰台
プロジェクト」も宣伝



キャップ回収ボックスの設置
(JRC委員会)

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組しポート

館林市立美園小学校（環境委員会）

【宣言書スローガン】

電気、水のむだづかいを無くし、資源のリサイクルに取り組む学校を目指します。

【取組テーマ】

- ① 省エネ、省資源
- ② リサイクル

【取組目標】

- ①節電、節水を呼びかけ、省エネ・省資源を目指します。
- ②ごみの分別、古紙回収を通して、資源のリサイクルを目指します。

【取組内容】

- 1 児童集会で、資源を大切にする意味や、再利用できる物の紹介などを発表し、資源を大切にすることの意識付けをした。**
- 2 教室にリサイクルボックスを設置し、毎月1回古紙(資源ごみ)を回収した。**
- 3 節電・節水について、環境委員会を中心に注意を喚起し、意識付けをした。**
- 4 節電ステッカーを作成して校内に掲示し、省エネ活動の啓発を行った。**
- 5 節水ステッカーを作成して校内に掲示し、省エネ活動の啓発を行った。**

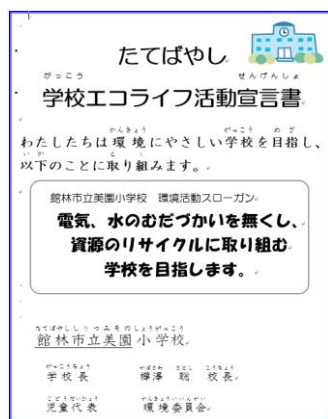
【まとめと目標】

（まとめ）

児童集会で今年度のスローガンの発表や環境に関するクイズを行った。低学年にもわかりやすく、身近な環境についてのクイズだったので、リサイクルや環境問題に意識をむけることができた。また、節電・節水のポスターやステッカーを作り水道や電気のスイッチの周辺に貼り注意喚起をした事で、児童の意識が高まった。

（目標）

省資源、省エネルギーの意識は高まったと思うが、リサイクルについての意識はまだまだ低いと思う。古紙回収ボックスに回収できない紙が入っていたり、古紙回収の周知がなされてなかったりした。次年度の取組では古紙回収の活動を充実させ、リサイクルの意識向上に取り組んでいきたい。



美園小エコライフ活動宣言書



環境委員会の発表



リサイクルBOX



資源ごみの回収



節電・節水ステッカー作成



節電・節水ステッカー



ステッカー掲示

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組しレポート

館林市立第一中学校

【宣言書スローガン】

エコライフを心がけ緑と花いっぱいの美しい一中をめざします

【取組テーマ】

**省エネルギー
緑化活動**

【取組目標】

- ①花と緑を増やし、自然を身近に感じられる学校作りを目指します
- ②エネルギーの無駄をなくし、環境に配慮した学校を目指します

【取組内容】

- 1 2階図書室のベランダから、1階保健室の前にかけてアサガオを栽培し、グリーンカーテンを作った。
- 2 校舎前の花壇やプランターを活用し、理科の授業等で使用する植物を育て、学校に花と緑を増やした。また、野菜を栽培した。
- 3 生徒会や部活動で協力して落ち葉拾いを行い、環境美化に努めた。
- 4 給食のゴミの分別を、生徒と教員で徹底して行った。
- 5 空き教室やトイレ・廊下等の照明を、移動教室の際に気付いた生徒が率先して消した。
- 6 教室の空調はエアコン等をなるべく使用せず、エネルギーの節約をした。
- 7 古紙や牛乳パック、ペットボトルキャップの回収を促し、リサイクルに役立てた。
- 8 PTAと協力して、資源回収やクリーン作戦を各地区で行い、古紙や空き缶を集めた。
- 9 各クラスで季節の花を育て、身の回りに緑があるクラスをつくった。

【まとめと目標】

（まとめ）

委員会の生徒を中心として各クラスに季節の花を置いた。その花を育てることでクラスの中から緑化に努めた。

（目標）

各クラスで花を育てているので、来年度はクラスごとで花の成長を見せ合い、よく育てられているクラスは表彰するなど生徒自身がより意欲的に取り組めるようにしていきたい。他にも、資源回収のアルミ缶を前もって集めておくことでより多くの資源を回収できるようにしていきたい。



グリーンカーテン



各クラスの季節の花



プランターでの花育成



日常の節電活動

令和元年11月3日(日)

回覧

資源
古新聞、古雑誌
段ボール、アルミ缶
雑紙等

時間: **7時**に資源を
庭先に出してください。
対象
一中地区
地域の方も資源を
出してください。

資源回収大作戦!

昨年度収益
208,984円
ご協力ありがとうございました!

部活動運営資金や生徒の
学校生活支援費に活用さ
せてもらっています。

熱中症・けが対策のため
製氷機を購入
しました

小雨決行

館林市立第一中学校PTA
担当: 第一中学校職員 高柳 (72-4455)

資源回収呼びかけの手紙

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第二中学校

【宣言書スローガン】

美しく 緑の多い 空気のおいしい二中

【取組テーマ】

「省エネルギー・省資源」
「リサイクル」「美化活動」

【取組目標】

限りある資源の節約・リサイクルに取り組み美しい
環境をつくります。

【取組内容】

- 1 授業の際には、教室の空調の設定温度を適切に設定し、授業終了後、空調をオフにした。また、冬場の暖房も2校時以降は一斉停止を原則とした。
- 2 1年生が環境学習でエコムーブ号を利用し、清掃活動を行っている加法師川の水質を調べたり、太陽光発電について学んだりした。
- 3 PTA 活動で資源回収を行い、有志の生徒が活動に協力した。
- 4 環境委員会が毎月2回（隔週水曜日）、部活動対抗アルミ缶回収を行った。また、クラス対抗アルミ缶回収も行った。
- 5 環境委員会がアルミ缶回収の協力、参加を呼びかけるポスターを作成し、校内に掲示した。
- 6 環境委員会が節水を呼びかけるポスターを作成し、水周りに掲示した。
- 7 生徒会役員と有志の生徒で、加法師川の清掃活動・ツツジの子房摘みを行った。
- 8 環境委員会と園芸委員会で協力して、グリーンカーテン設置を行った。
- 9 生活安全委員会が、自転車置き場の整理や点検を毎週木曜日に行った。

【まとめと目標】

（まとめ） アルミ缶回収や加法師川清掃、子房摘み、ピオトープでのムジナモ育成など、全校で学校エコライフ活動に取り組むことができた。その成果をまとめたところ群馬銀行環境財団教育賞最優秀賞に選出され、生徒一人ひとりや教職員の環境に対する意識が高まった。また、生徒が上毛新聞社主催の「ぐんまエコ宣言！2019」において、食品ロス削減のアイデアを発表し、大賞である「群馬県知事賞」を受賞した。

（目標） 環境への意識が向上し、生徒から「ペットボトルキャップ回収」の提案があった。今後はペットボトルキャップ回収を行い寄付するなど、環境と福祉との連携もはかっていきたい。



エコムーブ号での
環境学習



アルミ缶回収



つつじの子房摘み



ビオトープでの
ムジナモ育成



加法師川清掃



令和元年度第12回
群馬銀行環境財団教育賞
最優秀賞 受賞



緑のカーテン



ぐんまエコ宣言！2019
大賞 群馬県知事賞 受賞

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第三中学校

【宣言書スローガン】

リサイクルをして地球と命に優しい学校をつくる！

【取組テーマ】

**省資源・リサイクル
美化活動**

【取組目標】

**ゴミの分別やリサイクルに取り組み、無駄なゴミを減らす。
きれいで過ごしやすい学校にする。**

【取組内容】

- ・ 古紙・アルミ缶回収を2ヶ月に1回、生徒会と協力して行う
- ・ ペットボトルキャップの回収を行う
- ・ 裏紙の利用をする
- ・ グリーンカーテンを育てる
- ・ 中庭の草むしりをする
- ・ 清掃用具を管理、整備する
- ・ 落ち葉拾いをする
- ・ 鯉にえさをあげ、水の入替えを定期的に行う

【まとめと目標】

（まとめ）

古紙・アルミ缶回収や落ち葉拾い、草むしりなどの全校で取り組む活動は生徒が積極的に参加し、楽しんで活動することができた。参加する生徒はボランティアを募って集めたが参加率もよく、今後も続けて行けたら良いと思う。

（目標）

清掃用具の管理や整備が十分に行えなかったなので、今後は環境整美委員会での活動で月1回行えると良いと感じた。

鯉へのえさやりにおいて、えさを与えすぎてしまい、夏場に大量に死なせてしまった。事前に与える量を検討しておく必要があった。

【添付資料】

1月				古紙・空缶回収 回収結果				参加率の部	
古紙回収 重量の部 (kg)				空缶回収 重量の部 (g)				合計	
11月	1月	3月	順位	11月	1月	3月	順位	合計	順位
1年1組	7,110	11,150	5	2,220	3,560		1	88%	1
1年2組	2,440	7,065	7	2,840	670		9	54%	3
1年3組	2,400	6,120	9	3,590	920		5	41%	6
1年4組	3,420	6,320	8	1,510	870		6	46%	5
2年1組	11,300	21,780	1	1,340	730		7	69%	2
2年2組	9,270	10,130	6	3,495	1,420		3	36%	7
2年3組	10,250	16,000	4	4,855	1,380		4	52%	4
3年1組	6,040	4,050	11	600	710		8	29%	8
3年2組	12,150	16,850	2	250	530		10	18%	11
3年3組	6,680	5,920	10	930	1,680		2	25%	10
3年4組	8,650	16,050	3	1,190	310		11	27%	9
合計	79,710	121,435	0	201,145	22,820	12,780	0	35,600	37%
1位	2年1組	1位	1年1組	1位	1年1組	1位	1年1組		
2位	3年2組	2位	3年3組	2位	3年3組	2位	2年3組		
3位	3年4組	3位	2年2組	3位	2年2組	3位	2年1組		

ご協力ありがとうございました。3月もよろしくお願いします。本部 & 環境整美



校内落ち葉拾い
ボランティアの様子

古紙・アルミ缶回収
の結果

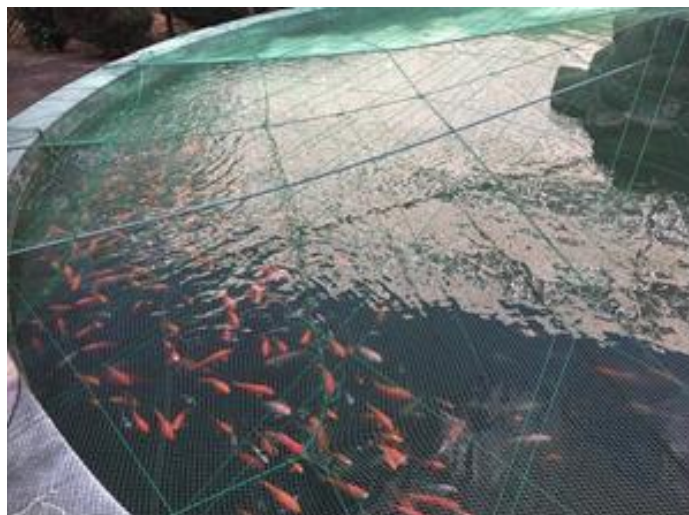


ペットボトル
キャップの
回収

古紙回収ボックス
の設置



池の鯉の様子



グリーンカーテン周辺
の草むしり

清掃用具の数チェック表

掃除場所 西グラウンド A	
ロッカーにある掃除道具	数
ほうき	3
ちりとり	2
バケツ	1

※ほうきとちりとりは必ずフックにかけること。
ゆがんだり、曲がったりして使えなくなってい
まいます。
掃除用具は大切に使いましょう！

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立第四中学校

【宣言書スローガン】

自然と共生 四中生

【取組テーマ】

環境保全・美化活動

【取組目標】

四中の環境を守り、緑をさらに増やします。

【取組内容】

- 1 オニバスの種まきを行った（定植については雨天のため今年度は中止）
- 2 グリーンカーテンを作り、過ごしやすい環境をつくった。
- 3 環境をテーマにした標語づくり・ポスター制作等に取り組んだ。
- 4 生徒総会にて全校生徒に向け、「環境委員会からのお願い」を発表した。
- 5 花壇を整備し、たくさんの花が咲く学校をつくった。
- 6 スズメバチトラップを設置し、自然との共存に取り組んだ。
- 7 四中の森を1・2年生の総合的な学習の時間で活用し、人と環境とのよりよい付き合い方について考えた。
- 8 四中の森の清掃活動を行い、きれいな四中の森の維持に努めた。
- 9 各教室に古紙回収ボックスを設置し、資源の無駄遣いを削減した。
- 10 使用しない教室やトイレの照明は、生徒が率先して消します。

【まとめと目標】

（まとめ）

今年度もオニバスの保護活動を通して、地域と協力して多くの生徒が関わる環境教育が展開できた。また、地域ボランティアの方々や地球環境課の方々と四中生により構成されたボランティアが協力する形で、四中の森の整備を進めたことで、地域に根ざした環境教育活動が展開できた。

（目標）

今後も地域と密着した環境教育を目指し、館林市との連携を大切にしたい教育を展開していく必要がある。また、継続課題として、オニバスの生長の様子をいかにして生徒に伝えていくのかを引き続き考えていく。



オニバスの種まき



完成した緑のカーテン



総合的な学習の時間



四中の森清掃

令和元年度たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

館林市立多々良中学校

【宣言書スローガン】

環境に優しい学校づくり～緑化と省エネに取り組めます～

【取組テーマ】

緑化・省エネ運動

【取組目標】

**花壇やグリーンカーテンの整備。
節電・節水リサイクルの推進。**

【取組内容】

種から花を育て、花壇を整備します。

- 1 花の種まき、水やり。**
- 2 学校の花壇の整備、草むしり。**
- 3 グリーンカーテンの設置。**
- 4 学校周辺の地域清掃。**
- 5 資源回収。**
- 6 節電・節水を呼びかける。**

【まとめと目標】

（まとめ）

城沼サミットに参加し、生徒が多々良中学校の取り組みを発表したり、地域の方と交流したりしました。

地域清掃では、中学校周辺の草むしりやごみ拾いをしたり、彫刻の小径の銅像を磨いたりしました。この地域清掃は、平成8年から毎年1学期にPTAと協力して行っています。

資源回収では、夏休みに多々良中学校区の各家庭をまわり、新聞紙や空き缶などの資源を集めました。

（目標）

生徒の「環境を大切にする」意識を今まで以上に高めるために、生徒の活動を見える形で学校内外に紹介したり、努力を評価したりしたいです。

いつでも美しい花が咲き誇る学校づくり
～種から花を育てます～



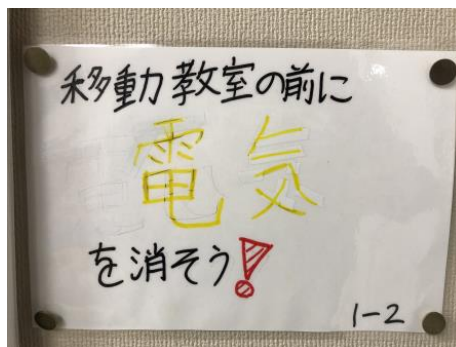
グリーンカーテンの設置



花壇の手入れ



資源回収



節電の呼びかけ



地域清掃



地域清掃や資源回収が
評価され、環境美化
教育優良校として、
県から表彰されまし
た。

たてばやし学校エコライフ活動 ガイドライン

1 目的

たてばやし学校エコライフ活動ガイドラインは、第二次環境基本計画の施策「学校での環境教育の推進」を実現するために、児童・生徒や教職員等が環境法令等を順守しつつ、学校での環境教育・環境学習を円滑に推進し、館林市の環境保全と創造に資することを目的とする。

2 たてばやし学校エコライフ活動の推進

(1) 学校エコライフ活動に取り組む方向性及び内容の決定

当該学校と環境との関わりを再認識しつつ、当年度の1年間実施していく学校エコライフ活動の宣言（スローガン）を決める。

たてばやし学校エコライフ活動のテーマ・内容、さらに活動主体等を検討し、「学校エコライフ活動プラン」を作成する。可能ならば、進め方や活動実績の残し方も決める。

※作成文書：学校エコライフ活動宣言書、学校エコライフ活動プラン

(2) 学校エコライフ活動の実施

各学校内で、環境活動を実施し、必要に応じて実施記録を残す。

(3) 学校エコライフ活動の報告

1年間の環境活動を振り返り、実施記録等を参考に、「たてばやし学校エコライフ活動取組レポート」を作成し、学校教育課に報告する。

環境活動の取組結果を、学校内、保護者等に周知する。

※作成文書：たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

(4) たてばやし学校エコライフ活動の継承

次年度の担当者に引き継ぐ事項を確認し、記録をまとめ、次の担当者に引き継ぐ。

3 取組の公表及び表彰（表彰については、現在検討中）

学校教育課は、学校エコライフ活動に取り組んでいる学校の取組内容を紹介するとともに、先進的な取組や積極的な活動を実施している学校を選定し、表彰する。

4 環境教育・学習の推進

授業における環境教育・学習については、年度当初に各校が環境教育全体計画を作成し、推進する。

年度末に、1年間の活動を振り返り、「たてばやし学校エコライフ活動取組レポート」を作成し、学校教育課に報告する。

たてばやし学校エコライフ活動報告書（令和元年度版）

令和2年3月

■発行 館林市 市民環境部 地球環境課
館林市 教育委員会 学校教育課

〒374-8501 群馬県館林市城町1番1号

TEL：0276-72-4111（代表）内線 451

E-mail：kankyo@city.tatebayashi.gunma.jp

URL：<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/docs/2013022100014/>

※ たてばやし学校エコライフ活動報告書の著作権は、発行元及び各児童生徒にあります。
文章・写真等の無断使用はお断りいたします。